

## 《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

\* 科目 No. 2904

## 科目概要記入欄

1. 開設大学	島根県立大学		開催 方法	■対面（ 浜田キャンパス ）		
	□オンライン（同時・録画・資料提示）					
	□対面（ ）・録画					
2. 科目名	正式科目名	NPO・NGO 論			クラス名	
	副題				配当年次	2・3・4
	旧科目名				受入学年	
	学問分野	番号	27	名称	社会科学系その他	
	サテライトで開講される科目の科目群			A群	B群	
3. 担当教員名	足立治郎					
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	春学期（集中）		
6. 開講期間 曜日・時間	2021年9月27日（月）～2021年9月30日（木） 集中講義 9:00～18:00					
個別開講日	1回目 /	2回目 /	3回目 /	4回目 /	5回目 /	6回目 /
	7回目 /	8回目 /	9回目 /	10回目 /	11回目 /	12回目 /
	13回目 /	14回目 /	15回目 /	16回目 /	試験日	/
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 （総授業定員）	5人 （ 人）		9. 定員超過時の 選考方法	書類選考		

10. 科目内容・授業計画	<p>NPO・NGO は、市民が主体的に集まり立ち上げた非営利・非政府の組織である。今日、私達の社会では環境・災害・貧困・人権・ジェンダー・感染症・過疎など、様々な課題が顕在化している。NPO・NGO は、政府・国際機関や企業等の既存組織のみでは解決に至らない状況で、こうした課題の解決を目指し、世界・国内で発展してきた。</p> <p>NPO・NGO は、政府や企業等の既存組織と連携し、その取組を補完する機能を果たすとともに、既存組織の取組・行動の改革、制度・政策の変革をも促す役割を担ってきている。社会課題解決・公益達成には、NPO・NGO への理解を深めることが重要である。</p> <p>本授業では、NPO・NGO の基本概念・全体像を俯瞰した後、NPO・NGO と既存組織・他のセクターとの関係性、社会課題解決における NPO・NGO の役割を、活動例（海外・日本の地域での取組事例も含む）も紹介しつつ把握していく。最後に、NPO・NGO の今後の可能性と課題、NPO・NGO の参加・支援の可能性・あり方を検討する。なお、「SDGs(持続可能な開発目標)」「新型コロナウイルス対応」「NPO・NGO を取り巻く制度」「社会起業家」「地方創生」等の最新の動向も取り入れた授業とする。</p> <p>【到達目標】</p> <p>「①NPO・NGO を理解するための基礎的知識」「②社会課題解決を考えるための応用的知識」「③社会参加のスキル・方法に関する知識」を得、自分の言葉で説明できる。</p> <p>【NPO・NGO の全体像】(1 日目)</p> <p>第 1 回「NPO・NGO の全体像① 導入－社会課題解決・価値創造と NPO・NGO」  第 2 回「NPO・NGO の全体像② NPO・NGO とは何か－その役割・特徴・分類」  第 3 回「NPO・NGO の全体像③ 海外における NPO・NGO の発展・変容」  第 4 回「NPO・NGO の全体像④ 日本における NPO・NGO の発展・変容」</p> <p>【NPO・NGO と他のセクター】(2 日目)</p> <p>第 5 回「NPO・NGO と他のセクター① NPO・NGO と企業」  第 6 回「NPO・NGO と他のセクター② NPO・NGO と行政・政治」  第 7 回「NPO・NGO と他のセクター③ NPO・NGO と国際機関」  第 8 回「NPO・NGO と他のセクター④ NPO・NGO と市民・メディア」</p> <p>【NPO・NGO とミッション】(3 日目)</p> <p>第 9 回「NPO・NGO とミッション① 貧困・人権・ジェンダーと NPO・NGO」  第 10 回「NPO・NGO とミッション② 環境・災害と NPO・NGO」  第 11 回「NPO・NGO とミッション③ 健康・保健・医療と NPO・NGO」  第 12 回「NPO・NGO とミッション④ 地域活性化/地方創生と NPO・NGO」</p> <p>【NPO・NGO の今後】(4 日目)</p> <p>第 13 回「NPO・NGO の今後① 今後の可能性」  第 14 回「NPO・NGO の今後② 今後の課題」  第 15 回「NPO・NGO の今後③ NPO・NGO への参加（就職も含む）の可能性」</p> <p>授業の中で、グループ作業による NPO・NGO 実践例の調査・発表の機会も設ける。なお、参加する学生の興味・関心により、授業内容を若干変更する可能性がある。</p>		
11. 試験・評価方法	最終レポート 50%、授業中に記述するミニレポート 50%、授業での発言・発表で加点		
12. 別途負担費用			
13. その他特記事項	<p>&lt;参考文献&gt;  P・F・ドラッカー著「非営利組織の経営－原理と実践－」（ダイヤモンド社）</p> <p>&lt;その他&gt;  担当教員（NPO・NGO 事務局長）の政策担当者・企業等との連携・働きかけの経験も紹介</p>		
14. サテライト科目の 社会人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ	可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料提示）へ変更になる場合があります。